

人生の成功と正常に機能する社会の形成のために
- 鍵となる5つの基本的能力を身につけよう -

学校法人有朋学園理事長
林 明夫

1. はじめに

新入生の皆様、保護者の皆様、学校法人有朋学園東日本高等学院への御入学おめでとうございます。心よりお慶び申し上げますと同時に、有朋学園への御入学を歓迎申し上げます。

これから御卒業までの間に皆様に身に付けて頂きたい人生の鍵となるような基本的な能力が5つありますので、今日から是非お取り組み頂きたくお願い申し上げます。恐縮ではありますが、保護者、教職員、有朋学園を支えて下さる地域の皆様におかれましても、十分に御理解頂いた上、お取り組みをよろしくお願い申し上げます。私も全面的に御協力申し上げる所存です。

2. 人生の鍵となるような5つの基本的能力とは

(1) 自律的に活動する能力。

自分自身を律しながら活動する能力です。

この能力を身につけるためには、高い志(こころざし)が求められます。

何のために生きるのか、何のために学ぶのか、この東日本高等学院に入学して何を学ぶのか、少し先のことになりますが、高校を卒業したあと何のために上級学校である大学や短期大学・専門学校に進学をするのか、何のために働くのかなどを十分に考えた上で、志を高く持ち自分自身を律しながらお過ごし下さい。

もしできれば、自分自身のことを大切にするように、自分以外の人役に立つとはどういうことか、社会の役に立つとはどういうことかも考えた上で、高い志を持ち続けて頂ければと思います。

(2) 多様な集団の中で交流できる能力

自分とものの見方や考え方、価値観が違う人、今まで過ごした土地や国が自分とは違う人、宗教や文化の異なる人とどうしたらうまくやれるか、争いごとを起こさず時を過ごすことができるかも大事な能力です。

少し難しい話になりますが、「関係は本質に先立つか」という問題があります。「私は日本人だ」、「私は~という国の国民だ」、「だからこうなのだ」と本質的なことから話や議論、関係がスタートすると、どうしても受け入れられないようです。トラブルや争い、紛争という状況があっという間に訪れてしまいがちです。そのような状況に陥らないためにはどうしたらよいか。その場の関係をまずはよくすることが大事かと私は思います。丁寧な挨拶をすること。自

分のことを十分紹介して相手にわかってもらうと同時に、それ以上の努力をして相手の言うことをじっとよく聞き、そのまま受け入れる努力をすることで関係を大切にすることも大事です。

「関係は本質に先立つ」ことを理解することが、「多様な集団で交流する」上で大切と私は考えます。

英語も大切なので、よく勉強して下さいね。

(3) 知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力

これからは知識が基盤となった社会、知識基盤社会です。

高校で学ぶ知識は、上の学校に行っても社会に出てもすべて役立ちます。しっかり勉強して下さい。

コンピュータも、これからの世の中で活動する上で大事です。少しずつでよいですから、身に付けて下さい。

自分の好きなことを、一つでもよいですから、得意分野として下さい。得意分野を高校を卒業してから更に学び続け、専門技術・専門分野の域(レベル)にまで高められれば素晴らしいと考えます。

これらの知識と情報と技術をうまく組み合わせて相互作用的に用いることも、知識基盤社会では大切な能力です。

(4) 以上の 3 つの能力を身につける上で、「学び方を学ぶ能力」も大事です。どのように知識を理解した上で自分のものとして身に付けるのか、これも大切な能力です。

(5) 最後になりますが、読書による思慮深さを身に付けること、本と同時に、新聞を丹念に読むことにより自ら考える力、批判的思考能力を身につけることも大切です。

(6) この 5 つの能力を身に付けることは、皆様の「人生の成功」に役立つばかりでなく、「正常に機能する社会の形成」に役立つと確信いたします。

(7) ゆっくりでよいですから、以上の 5 つの能力を少しでも身に付け、有朋学園東日本高等学院を御卒業されることを希望いたします。

3. おわりに

(1) 保護者の皆様、御出身校の先生方、地域の皆様、よくこれまで新入生の皆様をお育て下さいました。これからはどうかご安心してお子様を有朋学園東日本高等学院にお預け下さい。

(2) 最後に、在校生の皆様をお願いします。新入生の皆様は、皆様が入学した時と同じように不安と期待に胸膨らませて入学なさいました。どうか皆様が入学なさった時を思い出し、仲良く、また、親切にしてあげて下さいね。お願いします。

(3) 御入学おめでとうございます。

以上